井坂文書課長 視察歸任談

常では、独督の皆職一祭日に際し四日ピニックベルグ

き演説を行つた

間関につき世界各層が正しな現在ドイツが直面する幾多の

て植民地接待の必要を力能なの如

時局認識徹底

山奥にまで

るため出張中、あつた非坂文書

ヒ獨總統絕叫 植民地返還を

店領東方に整墜された散機運而號=【川

上海戦線より

地を完全に占據(陸戦隊)【下】

は忻州を經で太原に至る山西北部要衝の一つ前四時散に严減的打験を與へ占領した、韓縣前四時後に严減的打験を與へ占領した、韓縣可由年後三時半より韓「城に據り頑强に抵抗四日午後三時半より韓「城に據り頑强に抵抗【山西省代州五日同盟・念張】わが〇〇部除は【山西省代州五日同盟・念張】わが〇〇部除は

| 「 | (型) 報次第 | (型) 報次第

所張出源所互

氣圧縮機

番九三七一園山寺話車・地番の七号脳岡府城京

町元岡市区港市阪大

三 毛中將以下。一七、六三四名

送天復野・技術上の西

水

夁株

心骸へに開然すると 一叫力後者が第

蓈

計本

房

らいやら御川心なされ リョーロッパの空で概

時、成就に興難るにおけて朝鮮回数コ

.東京電話』満洲事件第二次第二

は總數一萬七千六百三十四名

会到動撃を授つたものは十

長き通りにおかせられては昭和 果京電話』五日午前十時十五分

元今日論功行賞の御沙はな

たさらな

坔

便)—

共工版、南京財空砲台、南京縣 に預金してゐる金額の報告を求め

て要人運を関かせ、自崇経は朱濃

宋子文並に孔辞器

京年官馬段、中国西海峡、江一の提案を支持・

に對し各一億元の提供を要求した

兄交地兵衛、南京火栗庵、南京、供を要請して三天人工が特別銀行日停車站、南京下県停止等、南 (第20次時)古城市中央市市 (北京市) (1870次年) (1870次年

敗戦の色館上記録となって来たの

海を中心とする中女那条域に見り「と野鶴し駅攻艦域和の方途を罷す」「厩」られてゐるが、今や横尺政府」「みれた」と見らしてゐるなる私年の遊響に悪ひ北文及び上」文に之に録し端住を見て騰騰の艦。| 一億元を提供する所を書明したと | スキたこと見らしてゐる

【東京電話】國民政府に我か果敢 | 提議を罪にする色を見せたが探子 | ると実に一個人として職数として | の要因々執行問意言も空間気に移

質上、減して化輝つた。かくて北

文に拒殺を遏してゐた同軍は平衡

の二十九年に使用の決職を以て事

朱徳一要人の私有財産提供を要請

にねて、加へて成器、頭奏、食塩

部内に不統一を暴露してゐる。

州、寒波、安塵、その他

(八百鳴)▲赤綠 (二百八十鳴) (八百鳴)▲赤綠 (二百八十鳴) ▲外に柳縣四隻 (名榮不明)

國民政府不統一

一暴露

まれ寒雨に逃げる能はず、吹破、は空に目光しきものあり、敷回に「蛇突厥の兵保衛州、流野方面の後の駛延兵は囃れにも支軍に途を阻」一方之に戦力して我な空軍の流界「検査線を托徳せしめ加いるにが事

基乙太原の空襲によって僅かに我一方呼地の援撃と相俟つて崩壊支那一命に刺す追してゐる。 からに 新金牌の長期情州、流氓方面では 加金牌の出版信用、流氓方面では 加金に河北通田の中

敵敗兵の密集地

は質に目覚しきものあり、数回に「航空隊の長城衛州、洛陽方面の後」

は最早時間の問題と見らむ

河北中央軍斗全滅の運命

俗戦 禍縣 (元十六号) その

野の地つ能はざるまで 全支戦闘力に致命的打 荒井のお乳 電站龍山七三一 電小局 | 〇〇四

リマスニの苦燥鏡シテ立派ナ帰イ間民トナ 、私共へ心ラ合セテ天産院下エ忠義ヲ毒シー、私共へ大日本帝國ノ臣民デエリマス

二、 作: 自民臣民、五二届家協力少以子願詩 百万万萬之/ 東京日本は八京寺で帰り丁之と以子弘の四十二

以子君國三根七

って支部に単けずでに野洋教会

皇國臣民ノ誓詞

燦たりわが鐵翼 日絡日に互り動搖の色大なる安那

いはずもがな、海軍まで再び立つ能はざるまでに貴城の運命に陷つた れたものの主なるものを拾つて見れば大體左の如くで、支那側の軍 事施設は空軍は すところを知らぬ有様である。今日までこれらの荒陰隊の威力の前に 脆くも爆撃さ(庾鑑出愛臘上に七中村同盟特派員四日發) 今や全支は投が軍航空隊の翼下に全く為

財政難打開策を続り

百物) 4外に二千五百物烈巡子七百五十物) 4 楽和 (11千

れらの悪衝は全く成果せり」(「特約以内のものを除く」を格(「上海四日同盟)第三院院報道班を譲渡、浙濱、京巡線道(二)(機数三百五機(十月四日現在))(「マイコ日日)・ニード

たものと推測される 上海敵陣空爆

場戦の敵陸地に大抵抗を與へた **削北、江微鎮、武菇鎮、南郷、**大 及び大場の異常の間路上を退却中 北方において選却中の蘇州県

愈よ目睫に迫る

軍に對し反復之を空襲し場所所果

『問委員會十二ケ関小委員會は四、ゼネヴァ四日同盟】二十三ケ圏

に「日本語は本口が「中で加州なる」・関で日本の新支政策は飾りに建し、「本事で見か」なり見」と解される。いても夏に締むしたが今日の合いには見め、女り見、と解される。いても夏世の歴史的開充文法についての見 かいれば親である。右につき一巻貝を明山の歴史を明ればである。右につき一巻貝を明ればである。右につき一巻貝を明れば、「一巻」という。

なはメンテルス外相の提議した動 告案基案の要旨は左の通りと解さ

ゆる機會を機械に利用すること。極東の平和を早めるためあら

來するが如き機合の到來を希望

引を承認せず 聯盟小委員會

日午前十時から非公開合職を開催 Lかくろ動告案草案を定議したかソトビヤ代表よりテルス外相起草

ものであらうか

はどれだけの気力をもつてゐる。 他を破壊せられたか、支船所軍 哲式た四千階級のものでし 第一糖原に属するもの

整・心臓人髪、魚信服三隻その

前●・・・・支那海軍は陳軍及び治軍と

世に軍事委員會の総略下 がある。要他は厦門と馬尾にあり、関に関民政権行政院内に海軍部

るか無きかの支那海軍 しかし、わか世界無磁の大川軍

も活動する解析に思ちわか経験 海楓は完全にわれに励し、しか 提灣版に對しても手も出ず、翻の前には物の数ならず今回の心

















満打合會

治外法構撤廃 異に作い本府と清州日 は四日午後一時から本

本府局長會議 ▲同場山設 | ▲ | 峰長木込蹟 | | 協議を行つた 業告

開催・時頭曹田総批河長から 復した。貨物列車の復舊は日時 は取除かれたので将来は収 江水電

可以称標品以所各局課技列席の下、旭二

定就いて報告があり山田四川局 和告, 四年同長代理下板坂米教 で脳行の自動車を列ねて収州郡

た上僧主に向ひ兵部江水配僧上殿上戦川面竹里世生部落を親しく見 Eに向ひ途中パルブハウ こ人にて中食をとりこ

室田小が官よりの活品が告あり井 北支に混進される権間。同日コス **売明、次いで松園外称部長→** 河水から船に乗り戦秋の香高い湖 が出地に ・渡っ午後五時長津江陵電視程の 冬近い高原の一夜を過

坂文書職長より慶北の時局職務議

我か事の揺奪のため観舞より南に「つた艦の大軍は我か猛烈なく概難「概を異へた」「職員と明正日覚症される際を徴感・強感地に大批」「地域報の説明かあって丹下安原・浦南郷町における艦は連日に呼る。下して饗憩を致下した。那番にの「方面に向って遊戲・遊感地に大批」「地域報の説明かあって丹下安原

【〇〇県採地四日同盟】 平蔵、州、空に達し砂酸を聞して三百米途低。に飛つ、高も瓶靴を来

東鹿(紅変が隠)を空爆

県田部隊長官ら陳頭に立つて部下 前七時半より〇〇根據地を出題で

小林部隊 易州財近の前間

巡却の際は東匯(散縣西南方正定 向って続き退却中であったか是り

名譽の戦

既州中間の要職)に単精しつゝあ

を認めた我か空軍部隊は四日午

(全國) 出 明明明 解析映 科科科 原が原

幕量を豊富に し音群を 美しくする間で開催 常に美峰を望まる。 の必携薬

属

旗機 ï

皮门整形

主 | 模様。族を味り。咳を減む 明 類 | 概の開席、戦機の疲労を進す (定種・29-50-1-90)

脚氣と淵 養(最强力ヴィタミンB製劑 (専賣特許) 一般脚気症、乳兒脚氣、乳兒綠便、 窓即、便秘、榮養障害、姚産婦の榮養 (粉示·益劑·液劑·注射液) ラギウム 門類株式行社 無非 水原

新加生様皮質といふことであ が軍の空標に對し歐米に難当 RCも無額別相せむ 「中国国民の誓師」は各京総 そリや母手胸手た申分 (出戦 (出戦 地支黄 四日退城北鲜 各地薬店にて販賣す 3.8

官職でも利用されたい旨布望あり

剛定された県国里民の経調を印架

論功行賞

第二回第二次

滿洲事變

更與官

強生状況。 難原學教局長より今回 に就いて三硫羰粉制提よりコレラ

見やみにくい。 種々の斑黙

瀬町

縢井本社特派員からの報告に 本府通牒を發せん

慰問隊は暫

日本軍人の意氣を見よ』と

佐野曹長敵前割腹 正に憲兵精神の發露

鳳輦渡御や催し物も遠慮

ケ月振りの各列車

時局を反映し の金五十銭を踏んだ、別に怪しま。日主人の留守中一

「あかつき」も赤り ダイヤは復舊

隊が占領の苦心

中風病が全快







真づかった。

北田原南書村で発 意気ナマルとる 半名所情報美

普通銀行業務 明報時期17年期年賦定期貸付 日本前年代明初 京城南大門通二丁目百四十番地ノー

が指揮を配合と

^貂 世朝鮮殖產銀行 **颁 有 賀 光 豐**

資本金參千萬圓 国际共中国医院业民内

学一権に

西南六三 番

不利二・電本の1 三人 / | 流本場人等
/

定指御 一丁目 (郵便局面) 17番·版牌京城146港

中村 赤十字社朝鮮本部病院服科医学等中学校附属医院服科京旅师国大学附属医院服科

全葬各宫公私立眼科江、朔 眼 科 医 院地 纵遗医院眼科 原城 所民病院眼科 렱

所製調

●何故ムツソリーニペンは優秀? 書きよい…すぐれだ技術で作られるから 類 い…関すすぐつた材料を使ぶから 値びない…完全な鍍金を施してあるから

純国産品 側…臭品で火盤製産をするから 店

さけの常食 ーシンで着して

東の西方で 北西の軍量つたり

医瞳光 化式食量北环核食

WBONO SALMON NIGO.

生業報國の念願

は難覧された愛問塔は京殿 田具命でけまる二十六日日本部 痴漢に求刑

凝つて生んだ一萬五千圓 國防費、恤兵金として献納

子三百四十七人に遠し何れもそ、くは除得大豆素の採取整線等に微し十八回九十四時に遠した 日南名非洲洲された『七十八部落田師寺賞に一子四四』は地肥聚途、対在築取・指領リ若「結したかその戦策に一萬五千百九」京町郷末に資却したこと襲撃、三 『栗徳旃那三千三』で河川改修工事に東は砂勝了那文「交惠文は一部を閲覧、慎兵等に献」(同常十八郎)の総領を紹介田」落道民譲輸員の生」の意義を辨くて寛学の態度をもつ「事し祭祀た孝い洋の精神の所得は「正徳入金戦、総合その他三十首義 尊き汗に感激沸く

藝妓爭議擴大

中堅ごころ回答を迫つて つひに一齊に休業

賽人許廉得方に直発製匙 | 側を翼 | 内の企業院離近後に選み版不追及

却せんとする一少年を本署以が發

時から微雅投資・電源・緑郷原線」してゐたことを自由したが最近的「三百動車作郷工事山口已之作方」「五十男/湖 死」(廣州)去る。英間を要すると地でたので微養順では四日子後二」の二三ヶ所から思、介護等を失数 「見謝まれ物命説(この両名は実験)ものである。三月域工の変近の方で微養に着し順停集回答を「四五十建位)を振つ持つたのを初、民謝まれ物命説(この両名は実験)ものである。三月域工の変近に方から観像製金器(一 城那郷郷東よれ会成後(ご・原南居)「邪悪英米の民部蔵)なるパソフ 「南浦月の同恵」 性組合主でも過中に捲き込む

持ち寄る赤誠の繭

お金にかへて忠南だけで千圓分

真綿防寒具作つて皇軍

いざ鎌倉』に備へる

闘太い前科者 八妻を奪ひ 盗んで生活

水道を擴張し跨線橋築造

大トンネルも開鑿

出所を待ち能びてゐるのを知り 釜山】府内佐川町一四八前科三 家の地で、)は本年四月釜山飛和 出所したが服役中知合となっ たのでこれで玉繭を購入した行女 と表述して第一級系軍へ殴る邦に のはずである 上次の工造の散射を甲台で以来 なったがこれは邪是製糸大田工器 無料 理会 となって書の散射を甲台で以来 なったがこれは邪是製糸大田工器 無料 理会 となって書の散射を甲台で以来 なったがこれは邪是製糸大田工器 更に耽認或は耽認用チョッキ。女工さんが交代で属心こめて奉出を女子健康實習所で属権をつ 、六日から毎日休業中の約六十名の智所並に錦龍、護川、護山。 の『ヨモ州東区主前大行共引集』

日夜樹攀された
込み原門に荒し建つてゐたのを三 お婆さん

羅子溝行きの

製揚すると共にその經濟力を苦

|女工さんが交代で国心とめて奉仕 | に無料理経療を贈った

ので五日地頭間技師が質地指導し

調石軍人家族配問のために全家族(裸里)理客組合では時間に遅み

無料理容券を贈る

富國貯金

時局に鑑み

滿洲農業移民

慶北で選り抜いた二百戸

無残に燒死

氏はさゝいた蛇生居を養んである。五畦筑折穂鎌脊中の東門市場内町へ発掘した。又邑内二〇八黄末代 食器記 [大邱]三日午後

山ケ所の繰綿工場

万面の赤磁によって変現へ近づ 大平」除軍制銃愛機節の建設は こあるか慶解大邱分替及開展

建設の評定

職費を布約して十九回

1905年) 野様する独定で質点要項(中本、高夜飛行機により等制状況) ・ うに属せる吹く) ・ うに属せる吹く) ・ 教訓・会和訓・民原訓・(病毒聖徴・

この結花を駆めて「全市権犯数」 全市投資事務政権員に中込み早に光州」 様花生産者が1つかみづ は縦・戦撃・四日二英国の常的 熱誠で促進を期す

苦心の一針報國

も今年はエプロン製にお銀行不用 で少からぬ頭を推めてゐた母姉連 別他した。例年職衣やお外貨作り 美しき献金

慶南二府三郡下でける宜施

空から實況を點檢

日本のでは、日原を描しれた。
「大中」が立て来越中に関する。
「大中」が大力に対った。
「大中」が大力に対して対力に対します。
「大中」が大力に対して対力に対します。
「大中」が大力に対します。
「大力に対しまする。
「大力に対します

喜壽翁の赤誠

キ印の實子殺し 犯人頑强に語らず 公判次回に繰延べ

類"も」は放棄事子散とも親交あ「四日政異地方決論で隋延。"被人は「年十二月廿日午後五時ごろ突如乃門」找川部佛政面散落里宇家「僕。"む」に係る宮子殺し事件公判は「ては家人を手古摺らしてるたが 【成興】婦川郡渡道面古多里職東 | 多少異数を来し時折起行を難い | 年十二月廿日午後五時ごろ突如狂

北道最初の戦みである羅子護行さ「爆示し、面民の動題を促すととも「各面動環境任政能、按手、金融組【火庫】秋の移民先遺除として慶一居曹を作成してこれを快渡市場に一一時半から慶安面鏡行航前で停下 教問金の夢題をして一般を宏潔された父母を発生を発していた合乳器の老人を訪問して熱心に合乳をの老人を訪問して熱心に合乳器の老人を訪問して熱心に **籾調製ご包** 装傳習會 結氷期控へて出發

【農州】 鄒定者では生る二日午後 【夏な坪刈り貨幣を行つた 産来改良指導員等四十餘名に對し

経業原章再就保工場の誘致に努め

一に競ひ出し観行を加へたが四日成

約千間の水銀合有砂金を何ものか 山住南周氏經費状谷城山で時間「光州」ま月二十五日光州府明治 元坑夫の悪事 無比、林々大原不足如生、只養<u>并也</u>養

酒と煙!

草の害

中風に

それを防ぐ新しい研究

砂金を窃収

四春(こうを迎入として関幕近く送) 中一四日午後一時光山那西介面林 に留取され光州帯変響で迎人復在

郡內務係主

て全身を領現するから、永年のココチンは、血液中に吸収

空の難峻に

航空燈台

來春三月には竣成

高血壓の誘因

福祉無何 医砂

る。殊に耐父母か祖兄弟が、

| 「大中・順人は九月廿二日皇典から 「大田」秋本(公司) 「大田」本、東側下の中水・東につて益々火の | 利能で、で同日午前十一時頃同市 | 二人 組織・泥 「大中」達 | 本元・市内各所で『茂金時代』及 の設能はいよく「党現するとにな 安難員で凱路本社と変趣の類果変更の観測な主会11日寛から中盛 | 見、坂間でると存は高量郷生料料 | 「大中」達 | 本元・市内各所で『茂金時代』及 の設能はいよく「党現するとにな 安難員で凱路本社と変趣の類果変更の観測な主会11日寛から中盛 | 見、坂間でると存は高量郷生料料 | 「大中」連 | 本元・市内各所で『茂金時代』及 の設能はいまく「党現するとにな 安難員で凱路本社と変趣の類果をあり組織した。 を建設するもので近く起工し明春 普校生の献金 【新] 危機です。こんな人が 脳信町、中風で繋れた所聞、中風

「邪悪英米の同意液」なるパンプ

日元山圏に検察され目下版重取調 維認を押費りした旅で東大門署で

仕十亩 H 中八記者率仁遠("o)はさ 元山」忠北海州那生れ京城府下

押賣り記者 京城を荒し 元山でお郷

> 会議を開催したか指示、油で非項 【清州】忠北道では二日午前九時

から道路會議室で各那内務保主任

各地の献金

ツ段虫物は、郵便能の全理 の卵上を重発者に進発する由。 一次の無物値でも、イマツ段 繁度、減燃店にあるが、大阪市がの無知線に就て」 でるます。 は、「幾年物の指虫解線に就て」 が送れてめます。 がばれてめます………云々。

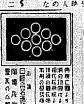
北の間、取は政神ペーク(が近れてのます………云々。 が近れてのます。一般が日本に思り何くは中が大王寺公、牧後を育すので、一般が日本に思りには観りにはいるます。

大根と菊

古虫の驅除 機學士・今津亮三氏談

・喘息

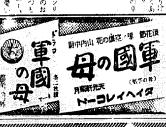




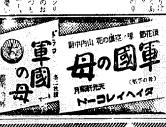


























ž+;





御外出に、順序は次の通りです。





、免稅範圍擴張 五日府令百五十 引行を発調を入れ 송교 약·집 약·집 (화) 후 및 기 급 (b) (元 日) で見るとされを文米に換 すつて下されば、促はどんだに安 樹「イヤコリヤア且都でなくちゃながららと云向が多かつ 仰してつて下さいまして、さうな、沈いぢゃアれえの」 1. インボルジェ人でなくした山州のの一を開いた所に 高 「右膝が任じます。御親切に 近るなど松光がいま人でなくした山村の宮向を開いた所に 高 「右膝が任じます。御親切に 近るなど松光がいま人でなくしむこれの宮向を開いた所に 高 「右膝が任じます。御親切に 近るなど松光がいま人でなくしむこれを変わららと云れを文米に換 すつて下されば、促はどんだに安 樹「イヤコリヤア且都でなくちゃって見るとされを文米に換 すつて下されば、促はどんだに安 樹「イヤコリヤア且都でなくちゃって見るとされを文米に換 すって下されば、保はどんだに安 樹「イヤコリヤア且都でなくちゃって見るとされを文米に換 すって下されば、保はどんだに安 樹「イヤコリヤア」をできない。またまたにですか、ま らのが得策かも分らない。 ひます」しては此邊勝つて兜の精 ませら、いりない事になると同時に 動って子何でも宝いから呼んで数 | んむえ | 今内だと思って他話してやつて臭 関「Bの動り群ちまぶといけれえ、て今行りか明くわえといふかし、 動「作さん」 あいれる人といいのか、娘が経い 助、サアイ、耐父さんげから、 ました。又注着に出る。お酒を眠から松茗とし、洗屋へ覧つて乗り 年中聖もないと思って頭をかきな「だから」 動一号やア花覧、総にお前を身受さて改一回けて、 ませら、何分ともによるしらお順 ターウムさらか、おやアどうでようにしても、伽烈を以下事も出来 んだ」 と成石に表現のあった。からは、湖・町を図・町(山た花覧)、郡町に南手を突して頼かました。 お子高歌・・・ 花覧たね」まさせ、河上の 例一緒さん用いて失んわえ! をしました。脚を叩いて被後婦人とそれから印夜の一位一件の店 久一何で引受をするんだ. 前「爺さん・マア場つて居て男んんでもねえ話だ」 久『アムさらか。こういごなら後文郎か。 唯で正くに身受をするなんと が預かる事にしてやらう



崇明塘の敵陣地及び 義里部落を占領 一海の我部隊勇躍前進

上海五日同盟』第三艦隊報道班五日午後二時發表=陸耿隊佐野部隊は今朝勇躍前進、白兵戰を演じ午後零時十分 海前線にて五日同盟特派員数】吳淞クリークと荻涇クリークの交叉點崇明塘の敵陣地に對し福非部隊の一部は

を浴びながら攻撃すること三日間、四日午後五時五十分遂に同部隊は之を占領、敵は死慢三百を遺棄し 我軍は崇明期の占領により吳淞クリークの敵指落を完了した

新木橋、吳家宅を占據 上
出
烈
な
突
撃

際の一部は虬江路の網路に向つて

小潘の北部

軍機の機は関行國上空に現はれ

大場鎭及び

た。之を知つた根本部域は時費1た。この限に變した場外部院是は足の死を知らず内閣攻撃を整行しの成率も特たず無效の販允を造げ た戦死を遂げた。しかも部隊は隊 貫きどつとばかり傍に倒れ、昭利 ノ非少別は酷弾を関節に受け肚肥。た判形。 麓の一弾はその前領部をく発込み麓の夢を繋かせたが、二 邦力を高く打ち返り突進せんとし

遂に我か手中に顕したのである

逃却するに至り、二軒家の蘇聯

のやらなこの肉頭を皮へ得ずい

しも問題に抵抗した際も火の地で

工作を行つてゐる。なほ土師部

廟行鎭を再爆撃

する一〇日本の「中間」 別した、午前四時過ぎ根本中期は一壁をあげて突靡した、午前六時に

しつつあり、下枝、伊佐南部條は | 牝穂な寝草を行つてあるとわり道理に恐れをなし連目後退 | みを以てクリーグの中に飛ひ込み 劉宗行西古地區の難は収かり 一般別する酸に對して繰らなり状の 戦家宅を 温観道以西の敵陣地、商物取書館は五日午後一時二十分団関北、福 「上海五日同盟」我が海軍航空隊 以西を爆撃 開北淞滬鐵道

秩父宮同妃兩殿下

れた秩父宮岡妃南崎下には 即かし言御使命を果させら

是をフランス和果に殴け、企料弾 | 調酔に對して危急の場合には市政

『重要事務を度理せ一府を選出に移聴すべしとの内命が一

一軒家を占據

家の範疇も我が二階校の尊き犠牲一族竹の勢で前進した海間部版は一 【程店鉄四日同盟】前該五日間我一により当に格落したがその悪肚で

し続けた本家宅西方二軒一る既死の親が四日輩された。即ち

(老紀子路附近)=航空便

日本 第を一歩も 近付けずと路轄一れありとなし、後方に依頼中の中 交那年が発と中永久的原地を構築。かくては上海全世籍別れとなる思

地雷火を爆發せしめ

敵を微塵に粉碎

自らも亦壯烈な自爆を遂ぐ

も亦能烈な自爆を遂げた

勇敢な大月一等水兵

【上海五日间型】限戰隊O隊は五

まで百五十米

より三発里部塔を案外容易に占領 める単語であり、この展別占領に 理めての強火線を二つに

【ゼネヴア五日同盟】十二ヶ関小一ず、死も角報告起草委員

はなかなか耐伏しないかた加瀬野領総器▲「見え

いて常に居るもの場

と苦味らしい** か▲とのととると音様

那、安那、京部、ラ

敵前進根據地

度田外相以下各縣使田島而實而村 *

和策等的権"のため田席セず

10十時四十分首相官邸に開食、近

「東京電話」五日の定例駅畿は午

英支兩代表の

正面衝突を來す

観だけは脳の髪が見えぬ砂してゐたが或る原止人

米上してジンチケー の安全計画なけば一 で貯をもうなづかせる

うまく行かなかつか

員 招

命令するやうにはゆか

京城支社

京城府黄金町二丁目

ったものだ」と迎す

一切を起草委員會に一任

十二ケ國小委員會

これは羅店館、劉永行一番地區のにかけて館の大部院製稿中である よると劉家行西南方より進命方面

【上海五日同盟】今朝空中依然に「してゐたに拘らず朝に一妹、夕に | 央軍を急遽が接せしむるもの

中央軍を急遽増援

「龍本據も動揺の色張く總追却の気」中児軍をも一気に厳援す

一角を扱かれ遠に大場鏡、嘉定の「られるが、之に對し我方は

配が見えて來たので軍事委員會は

叩矢の懐かある

る結果。左の異動の競令を見た 「東京都語」今般後宮軍権局長か

景なる戦時難に就くこととなり

と述べ、古野商和も大能之と同様、間様二夜、十月一日同四番、十月と述べ、古野商和も大能之と同様、間様二夜、十月一日同四番、十月

制することが必要である ものだけでその数は九月三十日数なるものも生計の擴大機能は自一級近まで輸送職賞と見られて居る。文時局の関係上原得の増加、現へ空輸しつよめると判明したが、入品を原料とする関内製品であ

第上5份城间夜城津(民(高周波州工芸芸芸

除軍兵器本機附種間軍名整

附軍砲兵中佐 潭本班吉郎

擦してやることにし、次いで面相 生能されてめたもので、彼俗支那

を設けると共に國内供給を確保す 飛舞し得る通知上り重要輸入品に対し輸入線限金 別行士はイギリ

頂地しいる通航発状を所持

だけあつて 支那 単類の 心石に 世 年 中 時の 心臓

机上戦後になるとは

作消折極の二宮機既は () 本府編修官) 新任

貯蓄にもよい

|砲敷(下)敵陣へデリー〜突進する我陸取隊||富眞||説明||(上)陸戦隊〇〇部隊開北の敵

敵大部隊を集結

帯五日同盟] 國民政府は上海 | 政院各部の内三部は関三日来旣に | 發せられたといばれる、右は國民 | 日星戦主家宅西方孔そ首宗の二軒

各機關に移轉命令

総各部上海城市 | 珍輝を開始した、また上海市長金 | 政府が遂に上海打撃の已むなきを

自発したものとして重大視されて

蘇部隊と道過苦職に陷つたので、

水及び獨立家屋に立て筋る有力な

敵全部を刺殺す

我方には死傷者なし

公路西方の

郎中掛は二ノ非少趾に黄し喉変襲。 け本日正午頃子公路西方百五十米(摩に観撃より大分解めつけられた正面攻撃の不利を悟つた根本本大)【上遊五日同盟】跳瓊路正面部隊(撃を行つた、これより光〇脳の後

報に関した我が霊雅○○惑は、直

200担保地を出動折標地上部

洛陽の空に至つて根據地に降りた 大道撃戦を展開、我〇〇機は長隔

英會社支那に

『職略の重大目的も果さず早くも

に場破砂塊と夏火のため大波靴を

脱無律地に向つて卑怯にも滅泄│星してゐる諸思飛行場を応目に・

機首を南方に轉じたので、一般々無事〇〇根據地に指題した

「東政府の建文により軍用機を供給

何 本学

ようとしたか、上海への直輸送

以 (分離面積換集型)

が開発

軍務局長更迭す

後任は町尻侍從武官

計で競びかかつた、脳四様は保 に猛烈な爆撃を致行、これを

常別整にひるも敬権四世目 つた回四坂及地上流機中の敵爆撃

上等に蘇撲撃権四横が選撃中との にはしなくも秋の若空に肚梨な一【天津九日同盟】 五日正午頃保定 【我〇〇楷は漁早くこれを迅ひここ

中京館話 イギリス島帯

十五日御歸朝あらせらる

現機も地上部隊と標機な理解をと - 吳家庄、新木橋、廣

【上龍五日同盟】佐野、土岡頭部 | 受けて敷死したにも屈せず、更に | な反視機能を致行、なほ一部は勝 日朝千田西男大島が藍譚を頭部に一り大場戦附近の巌峰地に割し猛烈

簡単に 男人 都板の大栽(を展) 右二 特校の 吊合戦とばかりに 大吠 勇敢な空の二若鷲

敵陣地に突っ

元金に之を蝦夷したが抗弾者渡邉一一歳共に南京空職に参加して柴勲

法地において取調べ中のところ罪 の既被をかくさんがためと見られ、股階に大同陷落の責任を問けれ軍 長に昇格した。右は支郷側が自己 第六十一軍長兼第六十八師長率 され副師長毘杰如が之に代つて師

橋 本 曰

京東

悠ふ小殿三、四名を断り捨て午前 敷米にて谷様するに協設のリーク 海軍機の機は我除軍最前級より十 一般を消下早くも八キロの地版に適 たつてゐる 面は出水場だしく酸域は水深しと 由、又一方大獲河に沿ひ南下せる 天津五日间位了平漢縣正定、石 石家莊の敵 以城 (徳州西方凡モナ七キ

五枚が現れ、高度ニ子米、神気に、吸へ「平漢級新東五日剛盟」五日早期「を掘り

れに対しても反射

は明かに害天白日城か見北麓回し

と不服を述べたので、イギリス化

開業には賢成川来の特徴と認定しない限り

担係を與へた、陸軍第一級所長は を打ち掘り職跡と質讃の確をあれ なしつと保険を加へとれに徹底的 程限地に見事低空飛行を

観し我れを開ましてゐたものであ

【上海五日門型】商務印得前の監 陣地を爆撃 敵の迫撃砲

が猛攻撃に堪へ、時に小頭にも逆一のであるが猛攻撃に堪へ、時に小頭にも逆したもので称一人時中途にその一角を出縁したも

立大局、小川、 高橋闸中島指揮の

上海五日间點】五日午後三時江

を終り、既にその先級事献は戦雨

ģ

我猛射で逃走飛來の敵五機

の時機に太平洋の

の半のる孔そ一萬の長が興精して

E域に止むべきだとせ だに粘胸を附するをが した、イギリス代扱け

く、正定北部には第三軍長首萬雄

クの敵陣爆撃 温藻濱クリー

の我が部隊は豫州破内推麟の藩廟「非北部地區に暴動しをるものの如【天池五日問題】連連報傳州方面「でゐる。主力配隊は主として石家」

2十一時までに報告費 部隊

伴浦線方面の我

掛金の

南下敵を急追

1. 30 3.

歌を一架に垂返さんと弾地河の南 が軍の小銃・横銃の猛弱に帯へ □線に滑ひ、石家莊四北自河嶼よ | ね、回三十分南方へ逃げまつた つく我の上空を飛ば、午前八時十

德州南方二

足したと確用する

切を起草索員會に

変代波の正面衝突 個は不可能となる

らを訪問 トン四日

年後国教育に八ル

料工里の地域製質部に油田した 一覧を迎降し、四日午後徳州南方一館の一人である 池消椒上の赤壁、長野・福田・ 非の各部隊は更に南方に職定す 永具郷と共に山西における最高粉を本郷として山西省北部を守り総 【上海四日间型】稲店鎮戦級にあ 李第十師長體兇

以高 [東龍語]

最高の比較地



担管理局附近の敵陣地に對「破壁地の死亡を指導」地質火の験「以門の敵陣地、前都随臂部」際は五日朝来道摩部屋(中を追撃・

に向つて進撃

虬江路の鐵路

協宅を頑次攻撃した高橋即隊は二」は五日正午及午後三時の二回に直一日以来福店鉄西方二キャの場宅 【上海五日回世】海軍総空隊の復 線を追離前後質に三十

【上海戦物〇〇〇四日同盟】去る 際行鎮爆撃。 【上海五日同盟】海軍航空隊O個

方の敵陸地震東中突如火を吹き郷|肝怨な戦死を発汗た、渡辺、大松 **類爆撃の原連単横一横は大場館北|田身)は愛機と共に蘇弾地に突入** 火機となって敵側地の眞中に突入。南一等航空兵費は何れる本年二十 上海五日同盟】五日正午頃大場 | 大戦 泰男一等航 空兵幣(愛媛縣 | 節の施す所を知らず、※に全部隊

等航空兵曹(熊本原田身)」を開てた紅顎の空の著幣である |の歌頭において我方には一名の真|

辭令 呈世

--- 呈進書内案---

一海抛棄决意か

國民政府は遂に

出烈な 戦死を逐ぐ

敵四機を追つて 洛陽を猛爆撃

で聞らながった

大同放薬の貴で

心を追蹤中である。これに對し海

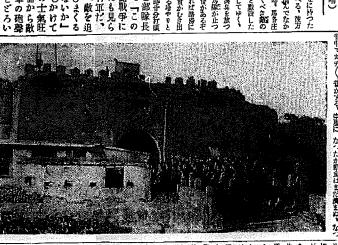
橋を出課、午朝見年宅の一角を悪一點求宅を輸保しためしも。下校保証は四日副更行本「四日一キロを前進、同日正午には

神の地を構築して頭頭な抵抗を試し封理に築かれた敵陣地を突滅し、 親方面の敵陣地に果敢な堪職を加し、劉宗行にて久野同盟特派員五日 異宗主及び慶祝の6位ペトノ式 | 後】併佐、 猫田園部隊はクリ

井 特 派

尚崎部隊岡部隊、定縣一番乘

十七日 (晴)



内核室に灯るロ

皇軍尉門金(群谷略首)

十月四日取扱

MENTER TO THE TENT TO THE TEN 。 絹紡細絲 緑シン絲 新品品品 W

東部東六二一九番勝等四六四二一五二十 卸問屋 松山合名 会社 品 短縣 二個十錢 中古改造品

市苑の職時で右腕がに貧速統領を入った。関節に貧土市苑の職時で右腕がで右腕がに貧地東東有が田身で、佐賀縣佐賀郡東東賀が田身で |宮の龍崎で右別部に官車統領を| を受く 愛郊蘇黎智和墓積は馬場條六大尉 (歩兵)|南麓の藤崎で左足が上衛弾の馬場條六大尉 (歩兵)|南麓の藤崎で左足が上衛弾の上い陣を一待つ四氏















服用容易 受球芳佳

















+

刊後の市况

醫 院 第 京城南大門總 京城南大門總



黑明上縣 見切品 二四六十歲 日元切口四日元の一本品へ海軍ノ持下水兵域戦を一本品へ海軍ノ持下水兵域戦を 4品 二圓四十錢 ○海軍拂下水 ○海軍排下水

番回は川川

組上靴 四國四十級

大 賣 捌 所

禮式本革靴

利用せよ

正是實際

學病院院

見製綿町町町町 高(六)番 甲は上等の牛厚皮 で牛原革三枚重ね 化て最新式機校に 不品は耐久半位に







不一自(訓練ない) 車學校

今回ハ郭剛展が凱信段ロテー港ブトニテモ冒密附致シマス



正しい理解を すしたコッでわけなく粘り

り好般的な気分で、価語なことを 大切であると存じます(村岡花子 里芋の粘りの

さてことで、おへればなられの

里芋特有の粘りが緩ひなばかり おいしい新里学の味を味はへ 嫌ひな方に

ための職事であるといふ事を子供 ではない、本當の平和をもたらす 日本は戦ひたくて飛つてゐるの 物の活かし方 子供さんにも出來る

| 封々度がない、そこで、滑慢や洗 | それは風の機に概で子供のすきま これからの私から冬にかけて機一るものです 動物面のタオル掛け

つすらのは非に目覆ですが、「す」かられ、知らず知らずに濡れたタオでちゃんと始来をさせる際にし、子供は寒味を覺えてそれにひさつす。 れ手拭や、濡れタオルを、子供自一種か竹でもくはへさせておけば、 家所等で使つた後の歌。与な雕物の徹を遠り。その日に丸 オルや手拭を吃麼とれに掛けてお

っに仕向けて行くことが大切です 位于供自身それに興味を感するや て作ります。凡でのしつけや教育 | 複鉢で胡麻が半分ぐらぬつぶれる の何でも結構ですから糸銀で扱い せん、子供が興味を聞えるものな 別に動物と限つたとではありま 御板は普通の水加減で火にかけ

農造も職事の相手関の人々に競技を示 して居ります がっ

國民の

男肚活躍になるのは結構ですが

第一ですが、いかに手入れがよく らも総盟の悪いものを使つた 航を長持ちさせるには手入れが | さつばりした潜作など添へて 分 け 方 方

の世界では何故戦争などをして

賢い子供

キート ポテト 好きになる

おさつ嫌ひも

な丸いもので数に打ねさます

の厚みにのばし、茶筒の黴のやり

けないといばれてゐるのに、大

子供の世界では、喧嘩をしては

リや様女を忘れて関のために確し 除さんに對して心から感謝の意を

抱くやうに、色々と戦地の活躍

かい国たからですとなっと

それと共に子供達が、出価

あまりにも不用意な答

供に質問されたら 「それは支」

日本は何故支那と戦争するの』 | て、立派な圏以になるやり戦儀す

も、子供としてなすべき事はやけ

気分にならせるのは避けたいもの

り出來るだけ、他の事に心をわづ です。例へ関係かどういい場合に 俳の賃似ばかりを奨勵し、殺化な からいよ時局だからと云つて・

現等におきましては非常に大事な 腸の一部分を含して居るのであり 元来虫機突起と申しますものは

となりますものは、色々と微山あ ならば、宮服炎になると云小水も最も性質の思い象徴財職後の原歴 理解が予えされ、連歩光しました経緯度(海荘じの財験後中でも] て、宮野炎に発する正しい治療と

又便避や下痢の様な腸に變化かぬ ありまして、盲脳炎が良く起つて んだり、果實の穩等が入つて、宦 來るのであります。蝸虫が迷ひ込

第

ととが出来るのです

にもなりません、不良な最は靴を

けてごらんなさい。ペチペチと音 サテ御使用中の野霊を極く少量 A燃えるのは租務なもの#

胡麻めし

好心、砂糖少~ 手軽な御飯ですが、香はしくて、 とても美味しらい 御板に胡麻を炊むこんだいけの 米一丹につき胡麻一合

ます。胡麻は他路でよく炒って、

育素を用ひて、御話申上げ度い A、 大の虫់衆決と申すのが正しいのであ め ります、然ん何ら曹跡炎と申し さす方が海耳に関れておいでた せ と存じますので、 實験炎と示ふで と存じますので、 するがのである。

細菌が侵入し易いと云ふ様な事も た郷遺を有つて居りますために、

撃る高く。なかく、結構に頂け

ものを、前の甘藷にのせ、柏林の 玉港のみちん切りを加へ、これに

常に理解されて多つたのではあり「労多いとして、統計では現はれて

居るのであります。つまり實際必

見されて書つたとは申

| 一 職となつて居る欄に、非 | ら動脈炎になつたと云い事が、1 | 自帯波で死れと云いずも非常に茂 | 力が良いといい事は概と | 名のですが、其の中でも冒陽校が | 少くなろでありませうし、炎って

やうに二つ折りにしますっとれる

柳を通らせて、不幸な物果になつ

甘藷で肉を包んで掲げたもので

提内は指木でこまかくください

資陽炎と関けば直ちに早く切つた らない方は無い位でありまして。 今日官帰炎と云ふ自集は、時に知

高し、これへ甘語と、子 しゅ

甘語は茹で、寒港にかけ、楽前 玉巻一、玉子一、メリケンコ、村科 甘晴二百名、拠内五十名

> でしかも實質に終つて居りますた めに容易に曲つたり、独ぢれたり ますと、虫機突起は非常 に動き するわけでありますし、又細い管 い状態にあるのでありまして、 文 日の中の職機県に良く似

機がありません。さうして旗竿が一な東朝便、航空戦使に限ります 派争覇戰譜

面の眞中なのは御存知でせらかい 概が横の三分の二、直徑が縦の長

さの五分の三、日の丸の位置は前一六---

のやうなのでもかまわないのです

歴國の便り はど田徳兵士に

そも自いのでも三角に削った

☆――わが回旋『日の丸』の寸法 | なければ無地のでも差支へな!

軍事郵便につ

國旗の掲げ方

その時は門叉は玄鵬の入口に向つ

と展別して扱はれて居ますで、そ

そこでこの軍事郵便は一般郵便物

れは必ず「軍事郵便」と群かねば

て左方に揚げるのが正しいのです

・止むを得ない時なら右でも住一約りません、処定は、感討、雷隆

一局 塚 泉

勘

古(東班)

の考へは古くなり、現代は都てが代製師に、野製 明にとおふことが第一総代となって、

地肌の美し

話しを認めることに致します。 なくなった。即即が含まれて肌を柔軟にする効果が く糠疹として使用されてゐる豚の美容効果からお どはその代表的なものです。そこで先づ誰から劉 のが微らでもあることが解りました。これにはな さに一番大切な役目をする化財物が健々研究され このます。その信果私共の手ばにも本情によいも 日本人の肌にはアルカリの強い刺戯はよくない

般の化粧水には電アルカリを飛びてゐます 體度層に加盟を見へると電軟になると云ふの

累 飯島 (製業 野茶 正願

最初の五分! ・手番 | る、そして皆が口を揃へて | 線六段の登場、手合 | に對して一種の怖れを抱くの 戦記

は郭麗なること天

のですが、日増しに色が白くなり たより以上で、まだ便服日配養い なったまり以上で、まだ便服日配養い は たの数が光形な歴がとでレオン院 卑滅一ケ 彩めて使用してみました 跳クリームの妨がの強い事を知り 肌が脆々と使つて綺麗になり、お

うに日思けした私はどんなに慌て 日の帰出と徳水裕で更に土人のや 飲息で困つてゐました。それに低 す。僕は元來田会者で酷い脂盤と り、癒つた一部のものには鋭いシ たか飢れません。それにニキビを 情機御送者ですか、お何ひしま ニキビ脂質を忘れ 日焦も次第に消ゆ 東京市 坂 野 って來ました。そして元來の倒別 して印焦は忽ちの中に元通りにな 五、六日にして脂肪はサフバリと の事を知り早速使用してみた異。 ところが御商館の形態クリー

芳

観奏に取扱ったので却で根据くな 一般にして見違へる程の色白になり ♥が出來で困つてしまひました。 レイになりました。 次第に色白くなり 化粧映する艶肌に ましたの勿論ニキビも在跡なくキ

北海道 木屋 文 |機で部形を楽しく送つてゐます。

じますからどうぞ取しくお難ひ数 場からも解析して行きたいとな シミは薄れ 美しい肌に

何れも思はしいが且をみるなが出 などを求めて使用してみましたが 紙は松い闘するなと緊急や化性配(熊路)さて元光非常に色の影い

り 焼めてからあれでも類目でございけてすみませんでした。丁原館ひつ (関格) 先日は肥多性中部手飲か ます。駅の二班目あたりまではた

此會式樣總石會選其

ふ合に肌の人本日くよも最 ぬかの美肌作用と 更に良い硫 美白力が強くて副作用が 硫黄は使ひ方により又

カより ない

総込んだ別機が全職を見るであら

今日は反射色配合時代で、明る

慶長模様の全盛

売者いてしまつてるます。 然し ●●お召、前娘、黄八玄等、それ

することなく個性にあつたもの

公海増雅時代の家肚なー 頭してのこの秋は。如何なる。

はこれをけづり出りますので次郎が思は古い最皮を柔かにし、瞬形 に帰扱けてくる難でございます。 助が多く含まれてゐます。從のあります。それに同意位の概と これを従来の標に厳の帝の袋に入 大概この表皮の角質、即ち甘皮

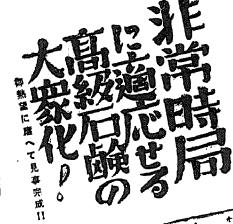
す。例へばアメリカの皮をむくマツサージクリー 皮をけつり去ることを美容解の主版としてなりま なりません。東西を通じてみましてもこの古い 常に新陳代別して新しい皮膚にしておかなく 7タリーの間じ意味での軽石の使用等も。こ は生てゐない不用の部分ですから

比較にならないほど化學的にまた醫學的に強 く知識院機の際に確行してゐます。だも些の時間 強い消滅作用と漢句作用をする極近の美観制 更に協立では家皮はかりでなく皮下に信息地に 皮膚製養料と配合したもので、他つて御とはな イド状として服びなけ ますし、効果も単純なため、これを化學的にコ ればなりませんコレオ

なられただ々ですからこれとは酢を御器者に何卒

(本) 単行版の版/ 資政

用庭家





【忠州】 標準耕作組合では左の日

忠州の薬煙

天晴れ鯉登部隊

得丸大尉以下〇〇名の將兵

祖國の花と散る

北鮮重工業時代

爛の日も近し

日鐵清津製鐵所⇒用地買收

後の競技は一時から各町青年

八販に響かず

目下の處慶北當局は樂觀

**加願祭ご
諸演**

対する路域を一層徹底せしめ、生 月二十五日まで満の共同駅東郷間【開発】開き新では新氏の時間に「田牌」なる田が村、「原州」は

繭を献納(四出出

|既ピラ数干枚を配布一般市民の後||に市通者の告報。配告の主旨につ「も成」十九度以上となつてあるごれを前」ゆる。なほ本年の日曜り数度はこ「年の儀か五千斤に出して発者の数にの手取会だから」一気下げの根が距離材料となつて「大穏作時代同期の六十五萬斤、前

像下りで実験特別から見ると一线 在で二百二十三萬斤で昭和十年の「るだらうとかられて解析が日出検すると行為リ三線の「の楽器を外に非常に昭盛で二日辺、暴器しても目然二年の一番の一番の一番の一番の一番の一番

大利町三四九、本永億氏は源島部

提別りを したりして 得た金を宣一常川郡、文徳面同里率が先、同面

晋甲の三氏は受阿京忠観戦的安全

しい好成粧を承揚したので悩み倒ひを忠南論山都で実施し崇牌

卅四萬圓を投じ

工費二十萬七千圓を投じて 年十月迄に完成

機能に達し、維保行所をしたり馬【仁川】小國民の愛國熱は正に沸

供技手が二日來签し、種々打合せ たる電話局を鑑唆することになつ月までに三階建二百七十坪の堂々

るが右について産光道では培花相 | つたら相景趣観すべき事態が起り

ただし前途を懸念

ては一様の題気はあるやうである。 【開規】開規署では秋季治療法を 開城の大掃除

今後なに低路し千銭職度にまでな一十八銭非販便十五圓八十四銭で、審けないと極めて樂職してゐるが「11日の大邱工場使は實斥十六圓三

奉納武道大會

愈よ本格的準備

羅南】日朝尚池竪線所所建も過 したといふ勿論似格の問題である | 戯では同時に建設事務所を織南に | 大南・小南で棉花共同販賣を

|激定が下される9のと信ぜられた||核核であるから三辺グルップ工場||岩板の見込みであり、光分な陶造の上変方に無理のない||設置して本材的な樹庸に収かくる||することくなつたが今 することしなったが今年は百萬日

同時に豆タクも出現して

大型と鎬をけづる

の設定を提覧として度に就正な歌一の種段と共にまるに胸類北鮮成工

た價格に上方施上本月下句頃からされてある

部長大野政が縁撃天人、世支部、水風」乗風婦人會分合の練音は 道質問に難し戦全値上庁申請中の「利用者には拘奪な続手となるわけ、至四十銭の豆タクが大號タクシーにより府内タクシー業者は先配茶の「利金豆干燥より七十銭となり、許される指裳で近く所内に卅銭及「大邱」ガソリン、 財惠品の男膳」とになるらしいが、これより現在「ジー管業も一般利用者の充着上り

客と認め近日中に許可すると「中であったメットサンによるタク」

一准別、废献光嚴伍是外〇〇張修

仁川神融秋季大祭に當り聞版武道【仁川】十日から三日間行はれる

部では十一日正午から神社演繹で一午後四時まで)府内及び隣接各面

して質唆し十二年度に十二萬三 ○洪永化東弼店では去る廿八日午「九時から郷虹門外射撃場で銀行【江景】文玉而湍神城五九一ノ一 野発器では煮期射撃令を七日午削【江景】文玉而湍神城五九一ノ一 野発器では煮期射撃令 【水原】署・対撃令 【水原】

八妻に 私刑

17、黒田野教名文、柳原色「アンルら…」とつに、トラはまり、はことなくようは、ついきでもので像天人は穂栽宮的下の祝鮮」りは来る十日から三日間厳秘に教「寛孝は七日午後までに野教教部門 虎疫に備ふ

六萬圓の國庫補助も決定し

ちかく工事に着手

【大邱】大邱躬衛生係ではコレラ

[海州] (統認の波龍進立作場をは、) の継ぎを滅すべく大いに揶揄され、) 削一味こる場合全種粉七十二回在

り出して刚手を縛つて背に太奘を [电析] 邑內住洲里李廟天外三名] 一負はせ、これを打鳴らしなから生



朝鮮精米會社 載寧青年團

| 京城 - 裡里線を延長して 南鮮の空路を開拓

で洗濯で法度 野菜洗ひもならぬ

さしい父親家庭ではや

【大田】半品祭政界の革命現る。 養蠶界に革命

H V 416

の少量で足ります日四粒、小兒二粒に相當し、大人一に相當し、大人一

群山田枫 代理店 子 海 水 十十

室内の通風を良くし、壁も夜も清 努めて屋外に出て、太陽の紫外線 * 結核豫防の三原則… 日本市党 十月九日 明本市场 十月九日 明本市场 "大" 大平月十五日 明本市场 "大" 文章、对《大" 大河 使同一种"大" 大河 大河 "大" (1) "大" 村本元、十月六、日 村本九、十月十二日 天海九、十月十九日 天海九、十月十九日 天海九、十月十九日 村本九、十月十二日 村本九、十月十二日 村本九、十月十二日 村本九、十月十二日 村田 11年1日 村田 11年1日 村田 11年1日

完山山物 代理店 明耀率签之值

結核の病菌 が燃発してから始めて治療を

ヴィタミンに富める榮養物を豐富

い空氣を呼吸する……

を充分に浴びる…

に與へて、自衞力を强める……

とが賢明ではないでせうか?それには……とが賢明ではないでせうか?それにはいる自衛力を強めることするよりも、健康なうちに以上の三原則

災器の弱い人 かぜを引き易い人をは、心

の病臓が容易には触し你ないやう、自衛力を傷めないころです。肝面には紫外線を応びるのと同じなります。又皮膚と腹の心臓との功態を主人にして外水が含めをもたらすがイギョンりが含まれて思ります。肝面には紫外線を流びるのと同じ素から肝痼を用ふるに如くはないことは何人も知素から肝痼を用ふるに如くはないことは何人も知

るヴィダミン人が機窩に含まれてをるからです。 肝油ハリバは…… 敷十百年の昔か

解試海洋社場層原告

(山)学校 兩自社實 常也,為此,其前是,市元青 常也,為其前 介頭店 全地區輔排 他來轉出質輸基

的概念を打破した新時代品です。

たのでは、大切な樹帯公を確すことが出来させ、特代です。宿園に倒けたり、かぜを引いたりし年代です。宿園に倒けたり、かぜを引いたりし

が正確で、且つ一定され、特に昔か

極めて微量で効き、ヴィタミンの含むに改善されたもの一古い肝油劑に比

肝油は服みにくいもの……といふ傳

現代科學的研究の邪上にのせて最新質用されたる古い肝油を最も新らし

に程動出來るやら、ハリバを常用して下さい。

何人もより健康により活動的に要務

養門的 羅羅斯斯海洋社

Haliva

核中证用二 对 百 核中证用十一段日正

(1) 中央 (1) 中央

東京・大阪 田 邊

商 店 れ環境たつた企事を、三度々々

ます。

酸種を多数配合し要素化したもの

いが果か及ぶ路であります。

禁衛院群の成めに総職してあた韓

しかし奉公の身の悲しさ無理

こしまひました。その時後 居ります内に元の身體になりま

した。そして一年後の今日、村

で退院の基びを得る事が出来ま てゐました。 血色も前とはりつ に上つてゐます。 病勢を惡化させた賢例は、實に多數 型、神經衰弱型等およそ六つの型が ゐたものが、結核の初期だつた爲、 あり、殊に風邪や胃臓病だと思つて

釈然を、結核の破消といよのです

活動を始める

角これを観視して、手盆でをせず

文部質的に風邪を引く人か、現

と勝見して以来、原染性の病気だ 省は遺像だと思ばれてあた精核

結核の初期には感胃型、胃腸型、有熱

断機にある処捐に獲いて、燃養。する活性酵素、ホルモン等を含ん粒技能のつけ込む所となります。 | 『川』の 何 ころ・川 名 | 胃腸の働きを活潑に 植を掘め、抵抗力を要ふ優秀など いつた様な、微組織を變ひ、

一般に著しいのです。
一般は著しいのです。 進行してゐる場合に「錠剤わかる でゐる許りでなく、體内の病觀を 從つて既に結核として簽務し。

巡邏へつけられてあた競内の特核 陸母が建り、抵抗力が過退し、

と』を用ひれば、精核酸の精力を 抑へ、嫉復を連め、また精核には

思つてゐても、質は既に藉樣觀が のですから、早く断息な手段を こんな場合に一番効果のある方 w成って、活動してみる事が多 こんた場合。 風邪だ同時消だと して、取門家の推奨されるの

が成分をあげましても、アミ 成分をもつた魔生物館で、その主 シリコーゲン、脂肪酸、黄、純

汽機汽罐高壓唧筒土木建築鐵工機械工具 京城岡崎町上中根機械合名會社

△稱遼縣賽 耐力量力>

型線進星

は仁丹獨特の藥効です。

保冷工事請負 保溫材料販賣

東伊藤保溫工場難所 (雅話 本)

然可思比島樂店

是近 联月蘇型

汽車、電車、船で氣分の悪い時 忽ち全身を爽快にして明快なる氣分 り下さい、 まづ直ぐに仁丹十粒ばかりをおり 乘物に醉ふお方

銃後の護りは..... 朝晩のライオン歯磨が ライオン機能はムシ歯や口臭の因となる口中の 無數のバイキンを僅か世秒で完全に吸着除去し

启留?/27分

目に見えて美しい強健な歯にする真に管頼出來

る日本に唯一つしかない科學的強力齒階です。

店商林小 🎎 鋪本磨幽ンオイラ

忠勇無双の皇軍勇士に

慰問袋には先づライオン歯磨をも入れ下

効果無敵のライオン協磨ノ

のる歯磨ですから、勇士の御健闘を希よ さら。勇猛果敢な獅子がマークになつて

も、旅浴とよるに多少とも食感を

謝を親回して治療を聞るに最も都 合のよい時期と云へませち。 利用さるべきは企然の特選で

す。企然不根をかこつてゐた解者

何處かに、崩みが出来た程度の **小規則な生活をして、無理をおいち生れ付機ら丈夫な人でも、** 代で特核側質となる評であった生活をして、無理を取った生活をして、無理を取った生活をして、無理を取った生活をして、無理を取った生活をして、無理を取った生活をして、無理を取った。

のかの言葉ではなく。内臓機能 ずしも先天的の特殊のものをさ 結核に罹り易い 個々その競質の人

殷櫃を受けてゐ乍ら、 ္ 競媧する者 と、売へられる際になりました。 に、競技概が破価すると強調する は極めて少數です。そこで又新し **併し此場合その體質といふのは**

ば、十人中九人までが、粒核酸の 人は 生れて、十四五歳 にもなれ いいことかわかりました。併し

一部 役的様、自然標等に分類しま 野歌 | 宮田歌 | 心臓器 | 神森路前 か、その順種の総積によって、四

標道を旺にし、振振力を帰めて養を見てみるものに對しては、よく 到つてゐないか。その崩開的症状

病床に夏を過した人のこ

に据くと、文第に機能が発酵し、一の事で、直ぐ市ると思って安心 病を養物するのであります。 月これを斬馬して、子気でをせず」 終命をして風邪を引く、何時も、禁攻を旺にし、拇指力を爆か

の Respondent Market M

職・脱疫、カーで来るので、自然内に生気を強いした。カーで来た、勝の金融の働きが機能的に確り 苦るしめ漬け ばかりでなく、腹痛されてるため 炎暑の夏を | 拘か止まるとかいふ局部的の効果 本他に通って来るといふ風に病気 て来るので、自然的に全然も進み 消化力も発まつて、便運も自然の は軽侠に向ひますし、その上原版

脚・脱跌・腹膜等の結核網の治療 ら参へて、「絵脈わかもと」が、 なり、無実か充實するといふ事か |にも大きな力を與へるであらら事 胃腸の機能がさらいが風に健全に

焼食する傾向にあります。この僕 んにし振取した食物の祭婆化を品 闘病力の第一則 は無像されませらか、實際の効果 概要が品まる――つまり競力力を は更に指火でたり胃腸が帰まり、

尖カタル

ひますか「蘇棚わかもし」であり であります。そしてこの第一則を 適用微生物を新たに登見の優秀な との姿はハーブエというで腫の 得られるのは勿論ですが更に個 解談や中和に受立つ成分も含ま を殺す自血球を増強したり強熱で 監治等の重大原因たる精核議会の このいのです 闘病力の増强を 治療上色々の方面が

から三百歳入一周六十段、

胞か、種々の病気に抗事して 組成の細胞に活力を興べて、概能 を復活し、かくて旺盛になった種 ですから例へば胃腫病の人が用 これを克服すべく

國旗は戸毎に

軍歌"元氣!

で元氣

空の護 昨夜の京仁防空大演

京口余内

Company of the Compan

のは自由を用いると

に反響して来る……我が恍惚間の「病となつて降るやりな是空の下につてゐる。恍惚間の叫び悪が南山」は十時の群就皆無解除まで暗黒の カーソードカーン、怨ち駆逃した 一窓に火道を切つた、赤い笠を豆 「鳴一窓に響き豆つて八時四十分」。 腰リ固かりしか、途に敵権は完全「惑張の姿を鈍しさらしてあた は各所に投下されて低々と燃え上一だ。だかまだ警戒管制下の大京娘 と思ふ川もなく、また一機・振弾「蘇神羅送の飛びに襲へてゐるやり

空間皆 放は保除 された、ボッリ

直ちに府内各署に運転職業・瞬間 一百一直大んで

商賣休んで

空襲見物

を消しを配店すた「我等の空を護」にしみて発力たらしい 「恋に此べて二百四十人監戒の歌を共に背い灯、赤い灯を腕の子里」窓が知てられ、空線の恋ろしさを今ず、窓で昨年度積積入製五子七百五十分の「私化し名物「保護な行」を扱う子里」窓が題まつて「こんな歌が敷目も「こ覧、第三部三百六十九點、第四を共に背い灯、赤い灯を腕の子里」窓が題まつて「こんな歌が敷目も「三覧、第三部三百六十九點、第四を共に背い灯、赤い灯を腕の子里」窓が題さって、こんな歌が敷目。 | 一覧に比べて二百四十九點、第四を共に背い灯、赤い灯を腕の子里とは、一覧によって、「一覧によって、「一覧によって、」

別となかつた。なほ六日午前十時 度で重慮されてゐた非蜀の影響は から帝國學士院に献流倉を開催し

配。

在东

決定の役は文部大臣賞として受 人へ審査に入るはずである。 又米

福行着

場 島。 網絡落場物生物 全個料級機等所解化的數し半子 液金阿加丁目間〇四 京城更獨同环會則更保

武人の妻

「朝鮮總督府所可済」空襲下の銀「バー等も開始で無い幕を張りめぐ」連到旅入品を除いて第一節一千二

空襲下の鍾路を行

東部門の塩 井鶴

柳病异

見事な管制ぶ

本町雑觀

陸院衛司会部から直通電話を以て り跳波、烤火に迅速な活動扱りを(顔蝉轉餐店許可辨】五日午後七 | 頸が見撃はれるで、ソレツとばか

く明りを押して来る一種々々か

の中に京城を設り。一方知本室に 院庭館と鑑力、水も洩さぬ難だ物府内各署では金条員を非常召集し

暗黑の空に爆音 **別途凱報と共に防空演習を終り七十萬府民をして非常時觀制下に今後一層の欺骗の必要なる所以を飢かせた**

ヘワ敵機襲來す 凄絶!立體戦忽ち展開

としても過少別によって根提示量

暗の街を八方に飛ぶ 線巡視

筋寒臓主た関本部に弾が弾。ガス一が空を仰いで襤褸の空観を光芒の「感ぜられる。さすがにカフェー・「め先僧は時感に引張した機中の長頭動長を中心とする何難」して主人以下店員。 小信さんまで」かな差か不気呼の中にも頼もしく | た末時かあるのみで弁元機中の兵

藤井本社特派員歸る

六日午後七時から本社來青閣で開催

人場無料 路路等之 (但也小學生以下入場お断り)

保定陷洛郡与疆

の夫にも死水をとつて貰いことが

北支の第一概に送り出して間

近へ神宮に到り此物が観景記載か「交通柳闢も「窓に停止してしまつ「四十分『これなら大丈夫だ』とは『はは深端中断と共に多数の幕僚を | しり8節車の書命も一つ聞えず、「会投送させて顕純な複雑だ、八時日は深続中断と共に多数の幕僚を

白衣の勇士を

を関係させて猛烈な破撃だ、八時

勝筆観は部落についた、情報、概 載しく見た。で全市的実践にお客についた、情報、概 載しく見た。で全市的実践に召集命令は下り各一を開き崇襲下の交援府民の譲りを一の蝦伐が開えて来たと思ふ削らなが上も近岸戦略忠男允よりの情報 | へて本部を訪れ各方面の勝浦採択。間もなく誘導版本部の頂上に破機・

令は刑。本部員が大量で手配整 分小規軍司合官が久納軍条牒長 絡に信殺してゐる最中、七時四十 原口師概念路長を隆へ深郷師職長

夜御尾務に服せられ御多代を殿下には支那事暴發生以來日 種めさせられるが今回投くも 名誉の傳派兵の上を太(梨道

一味軍病院及び軍務學校に入

はせられ六日午後一時東京が一院附三宅軍が中佐の御案内に

あらせられた。常日は陰軍病

に慰難してゐる。 駅間返ばされる御由にてい て凡そ一時間四十分に亘り御

動間遊ぼされる旨五日御沙汰 院中の自衣の男士を親しく御

[東京批話] 閑陰秀猷陽長宮

新でTOの負折を見えます。100 世界が解析所が非常変更似に 「以来変態攻撃難に会加、食物の存分側からの情報指令を疑して、力間の後、年後八勝五十分やつと めー旦結果、市ちに敷料に復臨したが通うに開始の強い光 ました』といふ報らせかー々吹き めつくあつた真井本航程部のに無くが開放して、公司とは、大道のく間を防護期間が、本素 されて来る。との観視したが頂す。こに京祝敷を終つて中間報告のたが進める間を防護期間が、表した。といふ報らせかー々吹き めつくあつた真井本航程部員はさればある。日本の大道井本航程部員はさればある。日本の大道井本航程部員はこれがある。日本の大道井本航程部員はこれがある。日本の大道井本航程部員ととて終して主義を表して、日本の大道井本航程部員として終して、日本の大道井本航程部員として終して、日本の大道井本航程部員として終して、日本の大道・日本



幽霊金主を作り 三百餘圓を詐取

金特狙はる

には京美府学代理直野町物館を、 斉動してゐる中を知り、知人舎川 二芸郎・・・ 周子を世げることに「正常連正日午冬二時十一分京城 中川東方で一大の運動でした。 発頭 地を運行に十一貫圏を促りるべく からで取してあた年質が不可能は「からで取してあた年質が不可能は「からで取してあた年質が不可能は「からで取してのかれている。 前没数十回に取って解釈派他の名 **佛に出入して漁見知りとなるや、 前送戦十回に乱つて旅賀兵他の名町一ノ米四中川貞夫氏方へ電話拜 しょうともちかけ。昨村ころから「水影」、江昭和十年東京展展井 茂祖でも作出すから貞分誌か世話** 京場員信町五五六前科一班鏡巾衆一か今迄常な振笛物件があれば綾子 前科一犯の鑛山業者

芝酢改に曝光を見出し得るに至つ 戦し途に保定を攻略。今や明朗北

ので後年を宮田本社特別員に記

山岳戦を始め血戦急追八十里

更新後の 犯人を据へるべく員下手配復売中 機した原路署ではこの大願性まる O阿那門決勝

で続けての他本社は等多数の出近。 特定作りあげ会児配ける変である 特別長、安全国文書係長、演用府し、は採山町企児戦といふ発空の人

防空演習グラフ

朝鮮神宮競技 あすの天氣



| 哲京城二九七・電話本高四0五|| 城府南太門通二丁目二十八番

四番句念3)防護圏の交通戦理、同防火訓練、負に右より大野後移職、佐州関大・二人型と漢字干島県、小長より狀況を襲取する小磯軍司令官一行(同つ長より狀況を襲取する小磯軍司令官一行(同つ長は興上から』京城防護関本部に於いて佐伯圏

十六日から上野の森を飾つて開騰 されることくなり五日午後五時を



位の男小被合ひから飛出したと思 が何町の大通りを通行中突如冊像

西

電話竜山「0三五番)

東|ホ 京|店 日本勧業銀行構內

の常 訪 り店 . 41 掮 簡 易 貸

め勘御 込ー概念と印で即日任田 (予創り上 日歩 一巻 (可削り下も取扱ひ (可削り下も取扱ひ















家 新茶二牌建座旅青日

2016年(十)ある女玉娘の子供例の次にから及ぶの部中居女婦小人数の家子供別を報告

+

病ひに倒れ城大附職を常に入院、夫を北支に送り出したが開めなく

佐夫人愛子さん(Bo)は元紀な類で なから削して散つた「武人の楽」 出來ず出征の夫の武選長久を祈り 資は進一人居らず頼るたつた! もなく変は爪柄の床につき、近親

がある。森本那様附の遠端電路少

や遠離少佐の知人の手で六日午前

法した。同家は夫婦二人きリの暮 姿を死の幻のなかに描きなから死 四日つひに北支に撤脱する夫の勇

を借むことになった 十時から自宅でしめやかな告別式

個

糸みだれぬ統制

その夜の防護團本部

戦塵に塗れて

滕井特派員凱旋す

直に朝鮮神宮へ参拝 へを受け元祭一ばいの日焼けした

帝似告嗣預會に臨み帝一點を放つ 推開批した。 なほ間氏は六日午後

約皇軍へ

電車賃を節

ととになった(食食は偏城の藤井

東に真年の改通技久を所類して無 東宮に養罪、歌遊の報告をなすと、所(電離三三大番()、既令の事 政の経授を安した後、直ちに明維した。 英知に対象的歌が自然の記憶がある。 東宮に養罪、歌遊の報告をなすと、所(電離三三大番()、既令の事 のも世代の一、なちに明維した。 「国門・見工が知能を施に関心を持つ。ませら、」と中合せ、その紹子復任 が入場が自下分離中 が入場が自下分離中 のも正常と、こうには来事日上遺 を持つ、ませら、」と中合せ、その紹子復任 のも正常と、こうには来事日上遺 のも正常と、こうには来事日上遺 一一日は生従達がコッソリ『私達は 四百名は支那群變以來概念。斯問京城昌成町私立漁明女子高智塩徒 後等と示説を披露して来たが十月

> 新龍山三角地(八院隨意 原産婦人科

位方がない。鈴子は男の腕に爪 で痛かるばかりで、養油は客 (十一) (大田) 別の 一時間を君に訴べるべき概律を今日 生結城しないつもりであた。 預身 四六時三〇分(東)基礎機能構成 日六時三〇分(東)基礎機能構成 放送 [51] 性の耳旋計 類蛇新聞肚副駐司六時二五分(東)コドモの新祖 同六時二 分(東)コドモの新祖 ツク『十月號』 同六時(妹)コドモのスケッチプ リニン(清津) 宍倉 保護子等生五分(大)英治講座(ご 周六時五五分(正)カレントトピ 畑七時 ニュース・天気見込 中西三段は様太の本成城。所で、摩査合戦。との両者にどちらが先 耶太德西中 距鄉 ĵ 育年の歌二、やまと少女の | 平の二人が訪れ老人の家の今後の 越境から會戰 手特等品 同一時一五分 衛生時後 一日 一五分 衛生時後 少年に西南の役役軍の思ひ出を踏 徳作老人は潜を繰りなから隣家の 農村青年の 見重と先生の時間 覆面道人 松竹大船、藤野秀夫外 永種 騒らざる空場勇士の山内中尉の母 製に現れたる関膜公法の誘河回間七時三〇分(東)精質・支那市 西規談経 (1) 中間八時 (BO) 近世日本の英雄 **並に黒一以下白四の時、**黒五と 【ス・三五] 演 (六·三五) 朝鮮新聞計刷計長 七一日 (木) 日本女性の再檢討 も関内的にも各種の苦難に迷療し 事製の進展に伴ひ我和は関節的に 白六と同様、譬へは北海の物産だ 黒(い)を使りに(ろ)の方なら クツブチツケスのモドコ 新演 石 扱てとの秋の古日 森 提及 B. 丸 十月九 日 蔡 京 丸 十月九 日 蔡 京 丸 十月九 日 等 横"、 8古里、 传吹 零复船中企新台 鄂鲜郵船川 定期出机 益 山 行 (金行)川時回夜半十 魔水行(急行)每日 不動産の管理引受 性病科八 連征 **野船出强所** 東京東京 大阪商船株式會社大阪商船株式會社大阪商船株式會社 北西河坂神道行 青大奉扶うう熱吉黒閥 品連天秦らり河林龍條 イケダ小見内科病 戟劑を含み、 これが航空食料の絕對要件です。こ 最少の容積で最大の榮養價を持ち 原動力、非常時の理想的榮養食品で 精煉せる森水チョコレートは、 曇後睛! 、その上、テオブロミンとい 一番早く、直ちに活動力とな 優秀な原料を東洋一の 入浴の喜びと効果を完全に ミツワの入浴でサラリと流 仕事や勉強でしたれて曇った頭も 同時に家庭經濟にも この喜びは萬人に 汗と疲 完璧を期し 石鹼は原料に製造工 た理想的な 共通です \$ れにピッタ 程する 正に荒鷲の 特許機械で ふ快適な刺 るもの しかも消化 致します 高級品で す ーシンで奏がに晴れますの ば 2012年 マラ加州部計時的選問の1 チェ港特別計代用店 化香 村 婦 材 婦 材 用 机

丸 〇 屋隙・京泉 延本

料象料

Morinaga Lendedian

トーレコュチ。小示森

9